

「障がい児の社会認識を育てるために」

共同研究 埼玉歴教協 小林幸雄、土田謙次
東京歴教協 竹下忠彦

◎はじめに

私たち 3 人は、2018 年 9 月からこのテーマで共同研究を行い、19 年の埼玉大会での分科会討議を経て 20 年 6 月にはその成果を 1 つの冊子にまとめることができた。そしてさらに、その内容をより多くの人に読んで批判をいただきたいと思い、編集部をお願いして「歴史地理教育」20 年 7 月号に掲載していただくことができた。まだ読んでいない方は、私たちにご連絡いただければ、いつでもメールに添付したり、コピーして郵送することができます。ぜひご一読ください。

しかし、私たちとしては、これで終わりではなく、この後、このテーマをさらに深め、発展させるために、2 つのことを進めようと考えている。一つは、この研究のスタート時からの課題である「障がい児の社会認識を育てるステップを、より細かく系統的・段階的に表した一覧表 (いわゆるステップ表)」を作ることである。そして二つ目は、この「ステップ表作り」のためにも、全国の多くの実践レポートを収集し、それを、テーマ別、学校種別等で整理して、いつでも、全国どこからでも見られるようにするための、障がい児教育分科会の「ホームページ作り」である。

今回のレポートでは、「1」としてステップ表作りの第一歩として、「買い物学習」を取り上げ、ステップ 1 からステップ 4 までに整理してみた。そして「2」として、現在までに作ることでできたホームページを見ていただく。そしてその両方について、参加者から多くの批評をいただいて、さらに進化させたいと願うものである。

1, 「障がい児の社会認識を育てる『ステップ表作り』の試み」

(例1) 買い物学習

*この表はネットで検索した下記の資料を参考にさせていただきました。(Yahooで「障がい児教育 買い物学習」で検索→「36 【授業例】買い物に行こう」)

| | ステップ2 想定…小学部 | ステップ3 想定…中学部 | ステップ4 想定…高等部 | 備考 |
|------------------------|--|---|---|----|
| ねらい | ①用意された商品の中から自分が欲しいものを選択する力をつける。 ②ほしいものを買うにはお金が必要なことを学ぶ。 | ①実際のお店の沢山の商品の中から自分が欲しいものを選択する力をつける。②できるだけ自分でお金の計算を行う。③わからない時はレジの人に助けてもらう。 | ①色々な店を見て、自分の欲しいものを選択できる力をつける。 ②ほしいものを買うにはお金が必要であり、そのお金を稼ぐ意欲にもつなげる。 ③自分のものだけでなく、普段お世話になっている家族へのプレゼントなども設定する。 | |
| お金の計算の学習 ①算数・数学の時間に | ①遠足のおやつなどの実際の買い物を想定し、具体物を示したりして、学習意欲を高める。 ②2桁くらいまで。 | ①+実際の貨幣を使う。 ②3桁くらいまで。 | ①+実際の貨幣を使う。 | |
| ②買い物学習の事前学習として | 仮のお金で行う。 100円以内くらい。 | 実際の貨幣を使う。 *500円くらいまで。 | 額を増やす。500円～数千円。 | |
| 買い物の方法 | 校内でのシュミレーション | 実際に買い物に行く (A) *一つのお店 (例) スーパーでお菓子を買う等 | 実際に買い物に行く (B) *色々なお店で買うものを選ぶ。 | |
| 買い物のルール | ①自分のカゴを持って商品を入れる。 ②レジで順番を待つ。③おつりを受け取る。④商品を買物袋に入れる。など | ステップ1+④おつりとレシートを受け取る。⑤購入した商品を指定の場所で買物袋に入れる。⑥陳列してある商品を不必要に触らない。など | ステップ1+2+⑦探している商品がある時は、店の人に聞く。⑧他のお客の迷惑にならないよう行動する。など | |
| その他 | | ①できるだけ、校内実習などで自分で稼いだお金で買い物をする。 ②それが難しければ、自分の小遣いからお金を持たせてもらう。 | ①必ず校内実習などで自分で稼いだお金で買い物をする。 | |

| | ステップ1 想定… 重度・重複の肢体不自由児のグループ では →具体的な実践例は「肢体不自由校（高等部）における買い物学習の取り組み」（2014 東京・竹下忠彦）を参照。→「2」のHPの「1 テーマ別レポート一覧」→「行事やその他の事前学習」にあり。 | 備考 |
|----------------------|--|----|
| ねらい | ①買い物学習に行くことに期待を持つ。 ②何をかうか、できるだけ本人が意思表示をして決定する。 | |
| ねらいを達成するための方策 | ①事前学習時に「買い物の歌」を歌って、期待感を高める。 学校から店までの写真や、店の写真、動画等で、どこに行くのかを知らせる。 ②何をかうかを決める際に、自分たちだけでは難しい場合には、事前に保護者に聞き「家族に頼まれたものを買う」「本人の好きなものを買う」などして、意欲や自尊感情、満足感を高める。 その際にも、複数の候補の品を聞いておき、写真カードなどを使って、2択・3択で最終的には本人が決定するようにする。 | |
| 教育課程上の時間設定 | ・総合的な学習の時間に位置付ける。 ・校外学習（社会体験学習）などの事前学習として位置付ける。など | |
| 買い物の方法 *生活年齢の応じて。 | ①校内でのシュミレーション ②実際に買い物に行く（A）*一つのお店 ③実際に買い物に行く（B）*色々なお店で買うものを選ぶ。 | |
| 買い物のルール・できると評価 | ①買い物かごをしっかりと持つ。 ②写真カードなども使って、買うものを見つけ、「これを買う！」と意思表示する。 ③レジにかごを置く。 ④レジで店員さんを意識して、顔を見たり、お金の受け渡しをする。など | |
| その他 | ・信頼できる大人の支援の下で力を発揮させる。 ・繰り返すことで見通しを持たせる。 ・振り返り学習では、買い物学習のしおりに当日の写真を貼る。 | |

*皆さんに、実践していることを思い出して、色々付け加えていただく。

2. 「障がい児教育分科会のホームページ」を作成しました。

URLはこちら→「<https://syougaijikyoku.jimdofree.com/>」

ぜひ、見ていただいて、気づいたことをお聞かせください。